



****保存会だより創刊****

新型コロナ禍で思ったこと

～あいさつ～

裸祭保存会長 鈴木 亨司

令和元年度は裸祭が国指定20周年を迎え、その歩みを『見付天神裸祭』にまとめた記念すべき年でした。令和2年の年明けからの新型コロナウイルスの発生により、裸祭が例年通りにできなくなるとは思いもよりませんでした。令和2年度は、例祭のみとし、私たちの思いを小祓いに託して大祓いの行事を実施したところです。続くコロナ禍の中、保存会組織の責任と重大さを改めて感じました。各部会の話し合いと情報確認の大切さです。会合が出来なかったこともあり、不確かな情報や曖昧な噂話しから混乱を招いた部分がありました。会長として意識と配慮の足りなさを深く反省しています。理事会メンバーと事務局、各警固長等との意思疎通を図るべくこの「保存会だより」を随時発行していきたいと考えます。

昭和28年の裸祭のポスター(佐口行正コレクションより)

<令和2年11月29日理事会で承認された新型コロナ対策4つの基本方針>

国重要無形民俗文化財「見付天神裸祭」を新型コロナ禍から再生させるために、

- 1 令和元年度まで実施した「見付天神裸祭」の全ての諸行事を、いつか再生させて実施する。
- 2 裸祭を保存伝承するため、できることを保存会で協議し、「3密」を避けて実施できるものは実施する。
- 3 祭りに参加する氏子の健康と安全を確保する。
- 4 祭りの観客の健康と安全を配慮する。

この新型コロナ禍により裸祭の伝承が厳しくなってきた中、裸祭保存会は上記の4点を今後の基本的対応方針として確認しました。1は保存会として裸祭の保存伝承を図る意味で最も重要な方針と考えます。例え時間がかかろうがいつか裸祭を元に戻すことを我々は念頭に置き、感染状況、社会状況を考慮しながら縮小せざるを得ないことを見極めていかねばならないと思います。2について、感染状況をよっては「3密」を避けて実施できると判断できるものについては、保存会で事前に協議を重ねて検討し、実施するという事です。保存会内で十分に協議し、検討することが肝要と考えます。3について、参加する氏子が感染の危険に晒される事態は何としても避けなくては行けない、ということです。そのときの感染状況によっては道中練りや鬼踊りも氏子の健康と安全を確保するため縮小、自粛ということも考えねばならないでしょう。4については、祭りを観に来る人たちにも配慮した祭りの運営が必要になってくるということです。

裸見付天神祭

国指定重要無形民俗文化財

鬼踊り
暗闇
矢奈比売命

浜垢離



『見付天神裸祭』

静岡新聞社刊
裸祭保存会編

書店にて好評発売中 1500円

～表紙オビ～ 国指定20周年記念

見付天神裸祭のすべてがわかる。

まつりの原質が浮上していくる。

読みやすくわかりやすい。

気がつくいと自分の生き方を省みていた。

野本寛一（近畿大学名誉教授・文化功労者）

～歴史ある宿場町が舞台空間～

- 第1章 裸祭物語
- 第2章 見付宿という舞台
- 第3章 裸祭のすべて
- 第4章 浄闇の中の渡御
- 第5章 旧暦の意味を知る
- 第6章 江戸時代の裸祭
- 第7章 明治・大正の裸祭
- 第8章 裸祭の価値
- 第9章 裸祭の保存伝承活動

<谷島屋書店では平積みにして販売していますよ。>

<令和3年度保存会の活動計画> 主なものを掲載しています。今後のコロナの感染状況により変更することもあります。

月	日	曜日	時間・場所	会議・行事	内容	
4	11	(日)	19:00	つつじ館	事務局会 ①	理事会及び総会原案確認
	25	(土)			実行部会・青年部会 ①	条件付きで検討に入る
5	⑬	(日)	13:00	拝殿周り	実行部会 ②	本年度の基本的活動計画・シュミレーション
	23	(日)	19:00	つつじ館	事務局会 ②	本年度の基本的活動計画・道中、拝殿、子供連
					理事会 ①	総会議案確認
30	(日)	見付交流センター	保存会総会	本年度の方針の確認		
6	6	(日)	調整中	調整中	事務局会 ③	
	12	(土)			実行部会・青年部会 ③	
	20	(日)			理事会 ③	
	26	(土)			6:30	ワークピア磐田
7	4	(日)	19:00	つつじ館	事務局会 ④	
	⑩	(土)			実行部会・青年部会 ④	【祇園祭 7/9.10.11】
	⑪	(日)			理事会 ④	【愛宕神社祭礼 7/17】
8	1	(日)	19:00	見付交流センター	全体会議	ガイドブック配布・祭典注意事項等を警固長経由で配布
9	5	(日)			祭事始め・御斯葉おろし	
	8	(水)			浜垢離	
	11	(土)			矢奈比賣神社大祭	1日目
	12	(日)				2日目

<保存会の活動記録>

- ・11月8日(日) **事務局会研修会** 青島正浩 医師(青島皮膚科)の新型コロナ対策についての講話
- ・11月22日(日) **実行部会研修会** 青島正浩 医師(青島皮膚科)の新型コロナ対策についての講話
- ・11月29日(日) **理事会** 新型コロナ対策4原則を確認
- ・12月6日(日) **事務局会** 内藤博敬 県農林大学准教授(感染症の専門家)の講話(オンライン会議)
- ・3月13日(土) **青年部会・実行部会** 新型コロナ禍における課題、何ができるか、できないか
- ・3月14日(日) **東中11町による会合**
- ・3月21日(日) **理事会**・令和3年度の輿番は東中である。
 - ・安全対策の検証実験をする。
 - ・矢奈比売様の渡御ができる方法を検討し、検証してその方法を探る。
 - ・令和3年5月23日理事会 5月30日総会 の予定である。

(令和2年11月より、主な会合を抜粋しました。)